

このコーナーでは、水資源機構の環境保全の取り組みを紹介します。

PART 1

味噌川ダム管理所

「山羊さん除草隊」出動!!



そんな山羊ですから、見に来た人みんなの心を「癒やし」で一杯に満たしてくれました。

驚くべき身体能力

ところで、味噌川ダムの堤体法面は、斜度約二十四度という急斜面です。風に吹き飛ばされそうな山羊さんたち。「何だか可哀想だなんて思っていますか。」

ところが、「えっ、何ということだろう!」。山羊は、切り立った堤体法面の岩場の上で、のほほんとした表情のまま立っています。

そうです、山羊は、急斜面に強い体の構造故、人間であれば下を見るとすぐむよような断崖や足場の狭い岩場に、平気で立っていられるのです。驚異の身体能力です。

先行している取組み

この試みには先行事例があります。水資源機構木曾川用水総合管理所美濃加茂管理所の取組みです。

同管理所では、平成二十八年より岐阜大学との共同研究において、「山羊放牧を活用したダム周辺緑地への除草」をテーマに、管理する上飯田調整池(アースダム)の堤体法面を実証フィールドとして、そこに山羊たちを解き放ち、効果の検証を行っています。

検証結果については、次号でご報告いたしますので、お楽しみに。

結び

平成二十九年十一月に美濃加茂市で「全国山羊サミットIN岐阜」が開催され、全国の関係市町村や山羊愛好家の皆さんが集結。ヤギによる除草についても報告を行っています。(木曾川用水総合管理所報告)

味噌川ダムでは、今後も木曾川用水総合管理所等の取



味噌川ダムでは、平成二十九年八月二十九日～三十一日、山羊による堤体除草の試みを実施しました。夏場のこの三日間、十七頭の山羊がダム堤体の『除草隊』として活躍しました。

ロックフィルダムである味噌川ダムでは、堤体の挙動を観測するため、堤体の岩間に生える草を人手をかけて刈っていました。この大変手間のかかる草刈り作業は、若い人から敬遠され、担い手不足が懸念されていました。

そこで、岩場大好き、大得意の山羊さんたちの登場となりました。

その仕事ぶりは、「寡黙」。

山羊たちは、ダム堤体の岩場にすくくと立ち、生い茂る葉っぱを、ムシヤムシヤ、ガシガシ、一途にそして静かに食べていました。

とぼけたような独特の表情は、とても愛らしく、仕事をしている姿は、また何とも頼もしい。

〈追伸〉

味噌川ダムの我ら「ヤギさん推進チーム」には、本家、木曾川用水総合管理所美濃加茂管理所より有力なスーパーメンバーMも加わり、『最強布陣』で臨む今年度。

まずは、この山羊さんたちの圧倒的な『癒やしパワー』を以て、観光資源・地域資源としての可能性を引き出していったらと思っています!

〈味噌川ダムヤギさん推進チーム(M・Y・T) 癒やし届け隊「デスク」



園児たちと交流

山羊さん除草隊の姿を一目見ようと、地元、とちのみ保育園の園児たちがダムに遊びに来てくれました。園児たちは、最初は少し怖がりながらも、おとなしくて何とも愛嬌のある山羊さんとお友達になれました。その日の味噌川ダムは、山羊さんと園児たちの癒やしに包まれていました。

